

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入) 平成 23 年度

事業所番号	2770700678		
法人名	社会福祉法人博光福祉会		
事業所名	寿里苑フェリスグループホーム		
所在地	大阪府河内長野市加賀田885-2		
自己評価作成日	平成 24年 1月 10日	評価結果市町村受理日	平成 24年 3月 12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2770700678&SCD=320&PCD=27
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成 24年 2月 18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

民家型のグループホームに比べると、当グループホームは老人保健施設併設型であり、家庭的な雰囲気は他事業所と比べて劣るかもしれませんが、毎日色々な職員や、ボランティアさんや、ディケアの利用者様など訪ねてくださり、皆様賑やかに生活されています。自慢出来る事は多くありませんが、利用者様が笑顔で生活出来る様、スタッフも明るく元気で皆様と接する様心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

老人保健施設併設の1ユニット9名のグループホームです。医師、看護師、栄養士、作業療法士など様々な専門職との連携が図りやすい環境で、家族、利用者の安心に繋がっています。開設9年の間にボランティア、パン屋、理美容店、寿司屋など地域の人の交流が深まり、広がってきました。また、この1年間は職員の質の向上に向けて、研修会への参加や学習に力を入れています。利用者に真摯に向き合い、情報を丁寧に集め、何が好きなのか、できることは何かを見極めながら、可能性を引き出せるよう工夫しています。生活環境面の利点は、自然環境に恵まれた明るいグループホームで、山々を眺めることができ、元は殺風景だった空間を職員がバラソルやラティス、色とりどりの花で工夫し、憩いの場所となったベランダです。また、家族の一員として暮らしている犬の「マロ」は、利用者や職員の癒しとなっています。笑顔で会話を楽しんでいる利用者のペースに合わせて穏やかに寄り添う職員の関わりが印象的です。利用者同士、感情の摩擦もあるとのことですが、行動や感情を制限することなく、利用者一人ひとりに向きあいながら対応しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人理念にもあるよう、開設当初より、「地域に根ざした」運営を実践してきたつもりです。又地域に出向いて地域の方々との関係も大切にしています。地域の関係各機関と協同し、ご利用者の利益を第一に考えた運営の実践に努めています。</p> <p>職員で考えたホームの理念を開設当初よりホームの入口に額に入れて設置しています。職員は理念の通り、地域の理解と協力を得ながら、利用者本位の支援を実践しております。又定期的に発行しているホームの便りにも、ホームの理念を年1回掲載させて頂いております。</p>	<p>事業所の理念として「皆様の立場にたち、話し合いをもち、大切な家族の一員であることをお約束します。地域・家族・あらゆる機関の協力を頂き、皆様がいつでも安心できる住まいであることをお約束します。私たちは誠意をもって行動し、努力することをお約束します」を掲げ、ホームの入口の利用者や職員が目につくところに掲げています。また、ホーム便りに年に1回は理念を掲載し、家族へも周知しています。管理者、職員は、地域密着型サービスの役割を理解しており、その人らしく生活できるよう、地域との繋がりを大切にしています。開設後より、地域への散歩や買い物に出かけたことやボランティアとの交流などが「地域に根ざした」成果としてあらわれ、地域との繋がりが広がってきています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<p>買い物や、散歩、外食で地域の方々と挨拶をさせて頂く機会があります。地域のお寿司屋さんや、散髪屋さん等は、出前やご利用者の体調に合わせて、訪問理容にも来てくださいます。地域の世間話をしに、いつでも来てくださると協力を得ています。</p> <p>老人保健施設に併設している事から、地域のボランティアの来訪に大変恵まれています。書道・歌・琴演奏・踊り、又は移動売店の方々の来訪により様々な楽しみがあります。又愛犬マロとの日々の散歩で毎日顔を合わす、方々とも、挨拶する事も日課になっています。</p>	<p>グループホームで飼っている愛犬マロとの毎朝夕の散歩や食材の買い出し、外食など地域へ出かける機会も多く、近隣の人と挨拶を交わす中で、交流が深まってきました。また、同じフロアに老人保健施設のデイケアがあることから、地域からの通いの利用者やボランティアとの交流、理美容や移動売店の人々を通じて、地域の情報を得ることができています。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	<p>法人はヘルパー2級講座を開設しています。又電話や見学での相談を随時受け付けています。又認知症の相談についても常時受け付けております。受身的な体制ではありますが、現状でできる限りの事を誠意を持って対応していきたいと考えています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、定例の報告とは別に意見交換の場を設け、福祉を取り巻く時事問題について話し合う大変意義の大きい機会となっています。又地域の情報(外出場所等)を教えて下さり、ご利用者の散歩や外出の情報交換の場にもなっています。外部表価の結果を運営推進会議委員は閲覧を自由に出来る環境を整えており意見を伺う機会も設けています。</p> <p>地域の代表・老人会の代表・御家族様・地域包括支援センター職員の参加を得て運営推進会議を開催しています。会議ではホームの状況報告・意見交換・課題の検討を行い会議録を作成しています。地域包括支援センターの職員さんが参加して下さる事で、地域の情報や、又当グループホームの良い点など意見して下さい事で職員のモチベーションの向上にも繋がっています。</p>	<p>運営推進会議は規程を作成し、2カ月に1回開催し、会議録を作成しています。会議には、地域包括支援センターの職員、地域の代表者、老人会婦人部長、家族の代表者、併設施設の職員が参加しています。会議では、ホーム内の活動報告、意見交換、送迎可能な整骨院やグループホームの待機者の状況など、様々な地域の情報を共有しています。多くの家族に参加してもらえるよう、便り等で積極的に呼びかけています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>わからない事があれば市の担当者からアドバイスがもらえます。グループホーム部会には積極的に参加し、市の担当者にわからない事があれば、確認させて頂いています。</p> <p>運営推進会議に参加があり、わからない事はアドバイスを受けたりする事で情報を得ています。最近グループホームの部会の集まりが盛んであり、市役所に行く機会も増えており、わからない事があれば相談させて頂いております。市には事故報告も行っています。</p>	<p>市施設部会からグループホーム部会が独立し、7つのグループホームで様々な取り組みが始まりました。市主催の「介護フェスタ」には、施設やデイなどの事業所部会と共に、グループホームも参画しました。「介護フェスタ」では利用者の作品を展示し、認知症の理解に向けて、地域住民への広報活動を行いました。また、グループホーム間の職員交流や研修も行われています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>大型施設であるが故の閉鎖的な空間ではありますが、常用している玄関は、開放出来る時は開放させて頂いています。事務所に大型犬がおり、こちらに入ってくる危険がある時は閉めさせて頂いています。(大型犬を怖がるご利用者がいる為)又感染症等の流行する時期はリスクを考え施錠する場合があります。外部との行き来は可能な状態を開設当初より保っています。又定期的に身体拘束についての勉強会・資料の配布を行い、意識を高めています。</p> <p>法人の月1回ある全体会議に出席し、身体拘束の勉強会に参加しています。自分のケアが不適切ではないか、振り返る機会になっています。ホームのベランダの施錠は行なっていません。ホームの玄関は危険がない限り、開錠されています。</p>	<p>併設するデイケアと同じフロアに、グループホームのユニットがあります。ユニットへの出入り口は開錠しており、自由に行き来することができます。管理者は、身体拘束の弊害について理解しており、法人全体として定期的に学習会を実施しています。言葉を遮らないように、また椅子からの立ち上がりを制止しないようにする等、身体拘束に係る内容について、具体的に職員へ指導をしています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>当事業所は大型施設故の施設にありがちな環境的デメリットもありますが、常時多くのご家族様や関係者の方々が来苑される事で、より開かれた環境にある事が大きなメリットだと考えています。ご家族や外部の方々から常に見守られている事で交流の刺激が、それらが規律を維持させる抑止力に繋がっていると思っています。又職員の身体的・心理的ストレスの状況を把握し、無理の出ない勤務体制や希望の休日を配慮する事で、ゆとりをもった関わりが出来る様努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度については、勉強会にてのみですが、机上で学ぶ機会を得ています。実際後見人制度を利用されているご利用者もおられ、職員も勉強させて頂いています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退所時に不安な事はないか、又ご希望は必ず伺っています。お話をじっくり伺い不安なくご利用して頂ける様努めています。又ご家族様に協力して頂ける点をお願いし、一緒にご利用者をサポートしていける様取り組んでいます。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご面会の際にご家族からお話を伺う様にしています。遠慮もあると思いますが、ご家族様は職員にいつも温かい声をかけてくださいます。資質向上に向けた努力をしていく過程での大きな励みとなっています。意見箱を設置していますが、これまでに意見が入っていた事はありません。ご家族様の運営に対する意見・要望はまだまだ少ない状況ですが、面会時には積極的に意見や要望を聞くようにしています。日誌には利用者・家族の希望、要望欄を設けています。最近の意見・要望等に対応した例では、利用者に似合うエプロンを購入してほしい、散髪希望・外出時の服装希望等です。</p>	<p>意見箱を設置していますが、要望や意見は、直接職員に伝わります。「歩行の機会を設けてほしい」などの出された意見や要望は、日誌に記載する欄を設けてあり、職員間で共有してケアに繋いでいます。また、利用者へは嗜好アンケートを実施し、メニューの参考にしています。</p>	<p>さらに利用者や家族の意見や要望を把握するために、アンケート等実施されてはいかがでしょうか。</p>

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者には随時、相談・報告しています。話しもよく聴きアドバイスもしてくれます。会議の場では厳しい意見も言われますが、利用者・職員の事を考えてくれるのがよくわかります。会議の場より、常時問題が起こったときや、意見がでた時は直ぐに相談しています。現場の意見もよくわかっており、厳しい意見もありますが、一人一人の意見に耳を傾けてくれています。ベランダの環境改善や、和室空間の改善については、一緒に取り組み、ご利用者からも好評を得ています。	管理者は、職員のモチベーションを維持できるように、できるだけ運営等に対する意見や要望を取り入れるようにしています。人事については、法人内で職員の状況を把握したうえで、職員が納得の上での異動が行われています。利用者の受け入れについては、管理者や主任だけで判断するのではなく、会議等で職員に情報提供し、現場の意見も聞きながら、体制を整えて受け入れています。常勤・非常勤を問わず、日々の担当にリーダー制を導入する等、業務の見直しなども職員の意見を聞きながら進めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	規模の大きな法人ではありますが、代表者である理事長は定期的に現場に足を運び、ご利用者や職員に労いの言葉を忘れません。又幼稚園の園長も兼任されている事から、ご利用者と子供の交流の場も考えてくれています。利用者本位のサービスが提供出来る様に、アドバイスもあり、職員のモチベーションアップにも繋がっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム部会主催の勉強会・研修に積極的に参加しています。又他の事業所での研修にも参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	河内長野市では、2カ月に一度の割合でグループホーム事業所全体の部会を実施しています。年間のスケジュールを組み勉強会・他施設への研修等実施しています。同じ地域の同事業者同士の情報交換の場にもなっています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人のみならず、ご家族や関係機関と連携し、スムーズな導入となる様努めています。その際はホームで出来る事の限界もお伝えする様心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人のみならず、ご家族や関係機関と連携し、スムーズな導入となる様努めています。又不安に思われている事・要望はないか面会時にお聞きしています。ご家族様に協力して頂ける事はお願いし、一緒にご利用者をサポートしていける様取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	生命を守る為に重要な事項と生活を守る為に重要な事項を職員間で共有し、サービスの導入に入ります。老人保健施設併設の特性を活かした支援も視野にいれています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自身で出来る事は、時間がかかったとしても行って頂き、職員は寄り添う姿勢を忘れません。やりたくない事は無理強いはしません。ご利用者らしく生活出来る事に重点を置いています。又日々の生活の中で、ご利用者の笑顔を引き出せる様、共に笑いながら時間を共有していける様努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の協力なくしてはご本人を支える事は難しいです。外出や、ご面会、買い物・クリーニング等ご家族様にしか出来ない事を、協力して頂いています。ご家族と共に悩み、喜びを共有できる様日々取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご利用者は、地元ではないものの、地域にはご家族との同居等で住んでいた方が殆どであり、馴染みの場所や、お気に入りのお店があります。外出や買い物はご利用者の知り合いがよく訪れるスーパー等を選んで外出しています。</p> <p>会議の場より、常時問題が起こったときや、意見がでた時は直ぐに相談しています。現場の意見もよくわかっており、厳しい意見もありますが、一人一人の意見に耳を傾けてくれています。ベランダの環境改善や、和室空間の改善については、一緒に取り組み、ご利用者からも好評を得ています。</p>	<p>入居前から付き合いのある友人が訪問し、居室で利用者と一緒に過ごしています。職員は、友人が来訪時には過ごしやすいようお茶を出すなど、雰囲気作りにも努めています。利用者の希望に応じて家族と一緒に出掛けられる段取りを行い、馴染みの理美容やスーパー、喫茶店やかかりつけ医への通院支援など、馴染みの関係の継続を大切にしています。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>お一人が好きの方や賑やかな環境な好きな方、一人一人様々です。ご利用者の意向に沿った支援に努めています。お一人が好きの方でも行事の参加は好まれる方もいらっしゃる、その方に合わせた支援に努めています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院への入院が長くなり、退所された方でも、入院後の方向性を相談したいとご家族様が来苑して下さったり、近況をお伝えして頂いたり、お付き合いさせて頂く事があります。以前入居されていた御家族が時々面会に来てくださいます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人、お一人の願いやご家族の想いを大切にされた支援を心掛けています。困難な場合でも共に悩み、相談させて頂き、その苦悩を共有する事で得られるものも多いです。 利用者の思いに沿ったケアを大切にしています。共同作業がお好きな方、そうではない方、ゆっくり過ごしたい方、活動的に過ごされたい方、職員はその方の思いを感じ取りながら支援しています。	家族や利用者の思い、生活習慣、暮らしの意向を日常の関わりから丁寧に聞き取り、把握しています。また、表情や利用者の発した言葉をそのまま記録に残すことで、思いを把握しようと努めています。「編み物が大好きなのでしたい」「料理が好き」「〇〇が欲しい」など、長年の生活習慣や好み、好きなこと、したいことなど記録に残し、利用者のペースに合わせて支援しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス導入前に面接等で得られる情報や、生活をしている中で得られる情報も多くあります。御家族にご利用者の生活状況をお話する事で、後からわかった情報もあり、その都度職員間で共有しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人お一人の過ごし方の好みを把握しています。お一人で過ごす時間を大切にされている方、賑やかな事が好きな方々ですが、交流の場を提供したり、静かで落ち着ける場所を提供出来る様、その方の思いを大切に出来る様に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成者のみで作るプランにならない様、職員の多くの主観の中から客観性を見出し、プランに反映させる様に努めています。御家族様の協力も多く、御家族の支援もプランに盛り込んだ内容になっています。ご利用者を職員・御家族と一緒に支えるという視点を心掛けています。</p> <p>利用者の思いに沿ったケアを大切にしています。共同作業がお好きな方、そうではない方、ゆっくり過ごしたい方、活動的に過ごされたい方、職員はその方の思いを感じ取りながら支援しています。介護計画は、職員の相談で作成する事はもとより、ご家族の協力も得て作成する様心掛けています。ご家族の外出や、面会等ご利用者を一緒に支えていくという視点で作成しています。出来ない事よりも出来る事を優先したプラス思考も大切にしています。グループホーム開設からの、作って嬉しいプラン・もらって嬉しいプランを心掛けています。モニタリングは毎月実施しプランに反映しています。</p>	<p>介護計画は家族や利用者の意向を把握し、その人のできる事、持てる能力など、プラス面を引き出すように作成しています。計画は毎月のモニタリングや会議で利用者の様子を話し合い、職員間で情報を共有化し、3カ月に1回見直しています。項目に沿って丁寧にモニタリングを行い、利用者や家族への説明をして、同意を得た上で次の計画を作成しています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	具体的なエピソードを踏まえつつ、事実をありのままに記入する様にしています。職員間に記録記入について多少の差はありますが、一人一人をよく観察し、記録する様心掛けています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り柔軟に取り組んでいける様努力を行っています。生活をされているご利用者が快適に生活出来る様。また御家族が安心出来る様、支援のあり方を考えています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホーム内での日常生活と区別して、地域に外出する事はご利用者にとってよい刺激となっています。外出支援は個人の思わぬ力を確認出来る絶好の機会と考えております。今後も継続して取り組んでいきたいです。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医は毎週金曜日に来訪しています。ご利用者との関わりを大切にされています。笑いながら冗談をいいたがらの診察ではご利用者も、不安なく笑顔で診察を受ける事が出来ます。ご利用者の入院や他科受診については迅速な指示を出して下さります。必要な事があれば、いつでも連絡してくださいと言って下さるので大変心強いです。歯科は年に1回の検診をしてもらっています。又かかりつけ医の対応もしています。眼科・皮膚科については、必要に応じて近隣の病院を受診しています。併設施設の看護師も一日1回訪問し、適切な助言や指示をもらっています。</p>	<p>利用者が希望する医療機関への受診を基本としています。受診は、利用者の状態を把握してもらうために、家族の介助を基本としています。状況や必要に応じて通院支援もしています。併設の介護老人保健施設があり、夜間や緊急時は、提携機関の医師や看護師との連絡が取れ、支援体制も整っています。また、歯科医の往診も連携を図り、適切な医療を受けられるよう支援しています。</p>	
31		<p>○看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>併設ディケアの看護師に毎日状況を報告し、適切なアドバイスを頂いています。又常時現場で医療的なニーズが出た場合等、相談する事で利用者への早期対応に繋がっています。日常的に療養や生活上のアドバイスがあります。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力病院にはいつも入退院の際、スムーズな調整をして頂いております。入院や、退院時の日程調整から緊急時における円滑な受け入れまで、日頃から協力があります。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用者の状況に応じて主治医・看護師を交えて相談する機会を設けています。又必要であれば、主治医から状況の説明をご家族へ行っています。終末期や重度化した場合の対応については、常に話し合う機会を持っています。医師・看護師・御家族・介護職員共に意見の確認を図りながら取り組む姿勢であります。ご利用者にとって一番安全、ご家族にとって一番安心な方法がとれる様、努めています。	家族や利用者、重度化や終末期の方針について入居時に説明しています。建物の構造、入浴の設備等の問題から、今まで看取りは行っていません。利用者や家族の意思を尊重しながら医師、看護師とも話し合いを行い、状況に応じて同法人の特養や老人保健施設、医療機関へ繋いでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	併設の老人保健施設の看護師を中心にした勉強会を実施しています。又グループホーム部会主催の市の消防士が講師の緊急の勉強会にも参加しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害マニュアルがあり、年に2回避難訓練を実施しています。ご利用者も出来る限り参加して頂き、非常時における体制のあり方の見直しを実施しています。</p> <p>災害備蓄品や、飲料水等の保管も行っています。年間2回ではありますが、ご利用者と共に避難訓練を実施しています。と言って下さるので大変心強いです。歯科は年に1回の検診をしております。又かかりつけ医の対応もしています。眼科・皮膚科については、必要に応じて近隣の病院を受診しています。併設施設の看護師も一日1回訪問し、適切な助言や指示をもらっています。</p>	<p>災害発生時のマニュアルを作成し、年2回の避難訓練を実施しています。消火器の設置や非常口の案内など、整備されています。訓練では2階からの避難を想定して、利用者と共にベランダへ避難する等実施しています。併設施設もあり、夜間も複数の職員の協力体制が得られます。飲料水や食料品等の備蓄、排せつ用品や防寒着等も準備し、保温への対応等もしています。</p>	<p>年2階の避難訓練のうち、少なくとも1回は消防署の協力を得て、避難経路の確認や消火器などの使い方等の訓練を定期的に行うことが求められます。併設の介護老人保健施設や地域の方を交えての訓練を計画し、取り組まれてはいかがでしょうか。</p>

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者にとって一番身近な顔なじみの関係でいられる様にスタッフは対応しています。他人行儀になりすぎず、馴れ合い過ぎず、状況に応じた対応をさせて頂いています。「人にされて嫌な事はしない・言わない」を最低限のマナーとしています。又人生の大先輩であるご利用者であるという事を忘れずに対応しています。マナーや言葉使いについては、定期的に勉強会を実施しています。	人権に関する内部研修や、個人情報保護に関するマニュアルを作成しています。利用者のできることは見守り、できるだけ自己選択、自己決定できるように働きかけています。管理者は、「してあげている」のではなく「させて頂いている」との謙虚な気持ちや対等な関係を、日頃から職員に伝えています。入浴時や排泄時の介助や、言葉かけなどもプライバシーに配慮しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	介助の際や、ご本人が自ら選べる様に、声を掛けさせて頂いています。職員が決めてしまうのではなく、なるべくご利用者に選んで頂くという姿勢で取り組んでいます。何が着たいのか、食べたいのか、何が買いたいのか、日常的な生活の中で職員は尋ねる様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の制限や決まりを優先させる場面はあっても、その中にご利用者の生活ペースに合わせたり、過ごし方の好みに合わせた支援を心掛けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族の協力が大きく、こまめに支援してくださっています。又ご自身が着用したい衣類を選んで頂いています。季節に応じた服装が出来る様、職員はそっと見守りをさせて頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週に約2回、食事作りを行っています。ご利用者の希望を反映するメニュー作りを行っています。調理をしながら皆で和気あいあいとお話をするのが楽しみの場にもなっています。お米をとぐのが得意な方や、食器を拭くのが得意な方、野菜を切るのが得意な方、それぞれいらっしゃいますので、得意な分野を分担して作業して頂いています。3食とも併施設で調理された物を運んで、盛り付けはご利用者にて行っています。又年数回はグループホームに調理師が来訪し、握り寿司や、天ぷら等を調理してもらい出来たてを召し上がって頂いています。買い物の日はご利用者の食べたい物をメニューに反映しており、いつもよりたくさん召し上がる方が殆どです。旬な物を取り入れ、又食べにくい方には、刻んだりやわらかくする事で美味しく食べて頂ける様工夫しています。	食事のアンケートを取り、嗜好を把握し献立に活かしています。週2回の夕食作りは、献立の作成から食材の購入、食事作り、盛り付け、片付けまで利用者とともに行っています。ホームの台所で調理していますが、利用者の調理への参加は自由であり、特に強制はしていません。できるだけ五感を刺激するよう、リビングの大テーブルを活用し、おにぎり作りやじゃがいもの皮むきなど、利用者が自然に参加できるような環境を作っています。食事は、職員も一緒に食べており、楽しい会話を提供し、雰囲気作りにも配慮しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量・水分量を記録しています。又体調不良や、ご高齢により好みの物しか食べれないご利用者には、捕食としてご本人が食べたい物を用意し、食事量やカロリーの維持に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施しています。上気道感染の流行る時期でもありますので、うがい薬の提供や歯磨きの支援を実施しています。又年に1回協力歯科医院の口腔内チェックも全利用者を受けて頂いています。普段から歯科医に気軽に相談できる環境にあり心強いです。歯科医は口から食事を摂る事の重要性を専門家として熟知されており、急な往診にも迅速に対応して下さいます。義歯の手入れについては、ご利用者では難しい為、職員にてお手伝いさせて頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンや水分量等を把握し、間隔があいているご利用者にはさりげなくトイレへの声掛けを行っています。又尿失禁が増えたご利用者でも、排泄間隔を排便日誌から確認し、定期的に声をかけさせて頂いたり、排泄のサインがないか観察しています。 可能な限り、トイレでの排泄を支援しています。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、羞恥心に配慮したさりげない声かけや時間誘導を行い、自立へ向けた支援をしています。病院からの退院時に、おむつを使用していた利用者がパッドになった事例があります。一人ひとりに合った排泄方法を選択しています。各居室にトイレがあり、可能な限りトイレでの排せつを支援しており、場合によっては職員2名対応をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度に体を動かすような場面を提供したり、起床時に冷水をお勧めしたり、ヤクルト等の乳製品を活用しています。便秘についても主治医に相談し、スタッフ間でも申し送りを行い予防に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	限られた職員の体制とご利用者の体調や身体状況に合わせて、出来る限りご希望の時間帯や曜日に配慮した支援を実施しています。お風呂は毎日沸かしています。希望者は毎日入浴する事もできます。又身体状況に合わせて、グループホームの浴槽で入浴が難しいご利用者につきましては、併設の施設の機械浴に入浴される方もいます。又、施設の大きなお風呂を好んで希望される方もいらっしゃいます。入浴時間は概ね午後になっていますが、習慣や好み(お湯の温度など)を聞きながら支援しています。	お風呂は2～3名が一緒に入浴できる大きさです。その日の気分により、一緒に入浴している利用者もいます。浴槽内には階段がありますが、一人でも入れるように手摺を付け、見守りの徹底と共に安全面への配慮をしています。入浴を好まない利用者に対しても、入浴を楽しんでもらえるよう、強制することなく時間をおいて働きかける等、言葉かけや会話を楽しみながら少なくとも、3日に1回の入浴を支援しています。利用者が希望すれば、毎日の入浴も可能です。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間はありますが、皆様お部屋で編み物をされたり、日記を書かれたり、ラジオを聴きながら横になられる方もおられます。又ご自宅で使用されていた馴染みの布団や枕を使用されている方もいらっしゃいます。大型施設で決まり事も多々ありますが、可能な限り対応し支援させて頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の副作用や内服の狙いを主治医に確認しています。又主治医に全てを任せするのではなく、その薬について調べる事も大切であると考えています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>私たちは、特別な事は何もできませんが、笑う力を大切にした支援を心掛けています。ご利用者が得意とする事は、なるべく実施していける様取り組んでいます。個人の趣味や、好きな飲み物、行いたい事がひとつでも実現し笑顔で生活して頂ける様そっと支援しています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なるべく希望に添える様支援しています。遠慮やそれぞれの性格もあり、希望を口にする事が難しいご利用者もおりますので、日常の会話等から、思いを確認し、外出の支援に活かしています。ご家族の外出や外泊の協力、外出が難しい方にはこまめに面会に来て頂いたり、個人の状況に合わせた外出や気分転換へのご協力があります。天気の良い時には、犬と一緒に散歩にかけています。又地域の御寿司屋さんでの外食・スーパーでの買い物・喫茶店への外出も実施しています。遠出が難しいご利用者には、ご家族と近隣の散歩や、頻繁に面会に来て頂いたりと協力を得ています。	日常的にグループホーム近辺への散歩、朝夕の犬の散歩、週2回の車での食材購入、喫茶や外食などへ出かけています。年間の行事として初詣や花見、旅行など外出できる機会を積極的に提供し、皆で外へ出ることで利用者同士の交流促進も意識しています。また、一人ひとりの希望に応じて、個別の買い物なども行っています。家族の協力もあり、自宅への外泊やスーパーへの買物、銭湯へ定期的に出かけている利用者もいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の支援により、小額でもご自由に使えるお金を所持されています。売店や、移動売店でお菓子を購入されたり、近隣のスーパーでパンや、果物等を購入されています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を所持されている方もいらっしゃると思います。又電話をしたいと希望された時は、いつでも事務所から電話をすることができます。年賀状や暑中見舞いをご利用者を書いて頂く支援も行っています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	大型施設である為、家庭的な雰囲気は他事業所と違い少ないかもしれませんが、出来る限りの工夫を行っています。季節の花や、季節の飾り、犬がいたり、家庭的な雰囲気に近づける様取り組んでいます。	正面玄関から、エレベーターで2階に上がるとデイケアの事務所があり、並んでグループホームの入口があります。ホームの入口を入ると広い廊下、明るく広々としたリビングに繋がっています。リビングを中心に居室があります。リビングの一部には掘こたつのある畳のスペースがあり、洗濯物たたみやアイロンをあてる作業スペースとして活用しています。床の間には掛け軸が掛けてあり、季節柄、雛人形が飾られていました。また、障子のつい立が置いてあり、リビングから目隠しになるよう工夫しています。また、ベランダにもテーブルや椅子、花が植えられ、ゆったりした落ちついた空間を提供しています。天気の良い日はお茶を楽しむスペースとなっています。また、リビングにはテレビやソファが設置されています。リビングの隅には冊子や本が置かれ、自由に手に取ることができます。レクリエーションの棚や壁面には、利用者の作品が展示されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間の中には、ベランダ・ソファ一・籐の椅子・和室があります。ベランダで犬と日向ぼっこをされたり、ソファで編み物をされたり。和室で洗濯物をたたまれたり、皆様それぞれにお気に入りの場所があるご様子です。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族の協力があり、長年使用されていたタンスや大切な写真、息子様からもらったぬいぐるみ、使い慣れた布団など、たくさんの馴染みの物を持参して下さっています。職員は大切に活用させて頂いています。</p>	<p>居室にはトイレ、洗面台、クローゼット、机、電動ベッドが備え付けられています。居室空間に緊急時の担架のスペースを確保できていれば、危険なものでない限り持ち込みは自由です。床はフローリングですが、畳やカーペットを敷くことも自由です。入口には、暖簾が掛けてあり、居室を開放した場合の目隠しとなっています。仏壇や礼拝の品々、家族の写真やぬいぐるみ、本や雑誌類、思い出の作品などを持参している利用者もいます。テレビや冷蔵庫はレンタルでの貸し出しとなっています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>大型施設である為、ある程度基準的な物は既設済みですが、ご利用者の部屋の入口が似ている為に、迷われる方もいらっしゃり、ご本人のお部屋だとわかる様、イラストや写真・飾りを行っています。ご自身で塗られた塗りを入口に飾る事で、部屋を認識出来るようになったご利用者もいらっしゃいます。又共同トイレはお部屋と違うカーテンをする事で、間違わなくなった方もいらっしゃいます。まだまだ十分ではありませんが、日々快適にお過ごし頂ける様、取り組んでいきたいと考えております。</p>		